

2015年3月12日

電通の菅野薫CDが、2014年「クリエイター・オブ・ザ・イヤー」を受賞

一般社団法人 日本広告業協会（理事長：高嶋 達佳）が主催する2014年「クリエイター・オブ・ザ・イヤー」を、株式会社電通のクリエイティブ・ディレクター（CD）／クリエイティブ・テクノロジストである菅野 薫が受賞いたしました。

同賞は、日本広告業協会が会員社の中から、2014年に最も優れたクリエイティブワークを行ったクリエイター個人を表彰するもので、1989年の立ち上げ以来、今回で26回目を数えます。クリエイター・オブ・ザ・イヤーに電通のクリエイターが選出されたのは、今回で24回目となります。

菅野CDは、2012年に本賞の審査員特別賞を受賞。「クリエイティブ・テクノロジスト」の登場は、広告業界に驚きをもって迎えられました。それから2年を経て、「データとテクノロジーを自在に融合し、人々に新しい感動を与える手法をさらに進化させ、広告クリエイティブに新しい歴史を刻みこんだ」として、2014年のクリエイター・オブ・ザ・イヤーに選ばれました。

また、今回6名が選出された「クリエイター・オブ・ザ・イヤー・メダリスト」に、当社のCMプランナーである岡野 草平（株式会社電通 CDC）が入りました。

<菅野 薫CDのプロフィール>



- ・株式会社電通 CDC クリエーティブ・ディレクター／クリエイティブ・テクノロジスト
- ・2002年4月入社、37歳。
- ・データ解析技術の研究開発業務、国内外クライアントの商品サービス開発、広告キャンペーンの企画制作など、テクノロジーと表現を専門に幅広い業務に従事。
- ・カンヌライオンズ チタニウム部門 グランプリ / D&AD Black Pencil（最高賞） / London International Awards グランプリ / One Show -Automobile Advertising of the Year- / Spikes Asia グランプリ / ADFEST グランプリ / ACC グランプリ / TIAA グランプリ / 文化庁メディア芸術祭 大賞 / Prix Ars Electronica 栄誉賞など、国内外の広告・デザイン・アートほか、さまざまな領域で受賞多数。

【受賞コメント】

素晴らしい個人が集まったチームで大きな課題にあたり仕事を成し遂げていく時代だと思っています。僕が関わらせていただいた仕事で、ひとりの力で成し遂げたものはひとつもありません。より一層あらゆる意味で貢献できる個人になれるように、精進したいと思います。

【主なクリエイティブワーク】

本田技研工業株式会社 インターナビ 「Sound of Honda / Ayrton Senna 1989」

本田技研工業株式会社 インターナビ 「Road Movies」

独立行政法人日本スポーツ振興センター 「SAYONARA国立競技場ファイナルセレモニー」

独立行政法人日本スポーツ振興センター 「世界を更新しよう。」

株式会社アミューズ、ユニバーサル ミュージック合同会社 「Perfume Project」

太田雄貴 「Fencing Visualized Project」

以上